一般質問

質問者
高島俊一議員

皮革汚染水処理費用の納付率について

昭和55年の9月以来、兵庫県の強い要請によって運転が開始された皮革汚水前処理場の赤字対策は、永年、たつの市財政の大きな課題であった。

市内の皮革工場群は、松原、沢田、及び誉田の3地区に分かれており、すべての工場は、操業排水の処理費用を、たつの市に納付する義務がある。

ところが、このすべての工場が、公平・平等に納付しなければならない汚水処理費用の納付率（有収率）が、松原地区、沢田地区、誉田地区などの地域によって、あるいは個々の工場によって、大きな格差があった事がこの事業の永年の大きな問題点であった。

この汚水処理費用の納付率は、平成19年度では、松原と沢田地区については、それぞれ81%、86%と、工場への雨水の流入を勘案すれば、事実上、100%に近い、高い納付率となっている。

しかし誉田地区の納付率は、同じ平成19年度において、37%に過ぎず、松原・沢田地区にくらべ半分以下に過ぎない。

私は過去4年間、本会議において、誉田地区の低い納付率を松原・沢田地区並の85%に向上させるよう、強く要請して来たと思う。

市当局はこの4年間、強い決意をもって大変な努力をされ、色々と新しい対策を取られたと聞いている。

その結果、誉田地区においても、今までにない高い納付率が達成されたとのことである。

問 本年3月31日で終了した平成22年度の誉田地区の納付率は、平成19年度と比べて、一体何%上昇したか。

その上昇した誉田地区と、松原地区、沢田地区とを合計した市内3地区の平成22年度の納付率は、何%となったか。

答 播州皮革協同組合の大変な理解と協力を得て、平成22年度の誉田地区の納付率は、37%であった平成19年度と比べ45%も向上し、82.3%となった。また、松原地区、沢田地区とを合算した全市平均の納付率も、過去最高の85.5%となった。

問 それを聞いて嬉しい。担当者の努力と業績に、心から感謝したい。

しかし、この問題は、これですべて解決した訳ではない。この高い納付率を定着させ、さらに高めて行く大きな努力が求められ、担当者を強く支える市長の決意がぜひ必要である。最高責任者の西田市長の覚悟はどうか。

答 この問題がここまで大きく前進した理由は、高島議員が本会議において、毎年、毎年、熱心に追及して頂いた事が大きい。感謝申し上げたい。担当部局を全市で支える決心である。

質問者
角田　勝議員

東日本大震災での支援実績と今後の支援の在り方

問 被災地でどのような業務を行ったのか。また、今後の支援体制は。

答 消防援助隊の捜索、救助活動。水道事業所の給水支援業務。国民宿舎等の炊き出し支援業務。行政支援は、義援金及び災害弔慰金などの申請受付事務、仮設住宅の入居事務。保健師による避難者の健康チェック。今後は行政事務支援を継続し、人的支援の要請に応える。

水道・電気・ガスの危機管理体制について

問 平常時の水道水の安全性の確保と災害時の給水対策は。

答 常日頃から安全な飲料水の安定供給に努め、災害時対策に、車載式給水タンクや貯水槽、市内の重要な水源地に自家発電施設を設置している。

また、姫路市・太子町との送水管の接続により、相互の給水支援も可能。

問 関西電力㈱も節電を要請しているが、長期の停電や電力不足が生じた場合の市の対応は。

答 電力供給の確保は関西電力㈱相生営業所が担当。危険予防措置や応急工事、復旧作業等は市災害対策本部と連絡を密に、実施する。

問 都市ガスの敷設が進んでいるが、安全対策は。

答 ガス管敷設に伴う安全対策は、大阪ガス㈱が対応する。

問 ライフラインに関する問い合わせ窓口は。

答 平常時の問い合わせは、なんでも相談課。災害対策本部が設置された場合は、危機管理課が中心に対応する。

県道網干たつの線の周辺環境対策について

問 沿道のごみのポイ捨て対策は。

答 クリーン作戦の実施や啓発用看板の設置など、ポイ捨てしにくい環境を保っていただきたい。

問 市道中臣萩原線との交差点における交通安全対策は。

答 県に道路照明灯の設置を再要望し、信号機や一旦停止の設置は公安委員会へ強く要望する。

問 真砂地区からのアクセスで利用者が増加する市道真砂7号線の整備は。

答 蓋（ふた）がけ、舗装工等の道路整備を年次計画に基づき進めていく。

NHK大河ドラマ「平清盛」のロケ地誘致で室津地区の観光PRを

問 大河ドラマのロケ地誘致は、「平清盛ゆかりの地」として室津を大きくPRするチャンス。平清盛を活用し、室津の歴史的、文化的遺産を含めた観光客誘致のための観光PRをしてはどうか。

答 今年2月からNHKに対しトップセールスを展開中で、大河ドラマのロケ地誘致はあらゆる機会を捉えて引き続き努力したい。また、観光協会や地元の方々の知恵と協力を得ながら室津の魅力を発信したい。

文章は、質問議員が1000字以内でまとめたものです。